

職員提案票

<p>1 提案事項 (タイトル) 25文字以内</p>	<p>伊賀市庁舎を知ろう。 庁舎の価値を知り、伝え、活用しよう。</p>	
<p>2 提案の背景・現状分析 (何が問題か。)</p>		
<p>モダニズム建築を代表する公共建築をもつ青森県、島根県、愛媛県鬼北町等では、これらの公共施設を保存活用し、まちおこし・観光資源に繋げています。また、これらのモダニズム建築の価値を伝え知ることで、職員や市民のシビックプライドを醸成しています。</p> <p>しかし、伊賀市の現状は、2014年度 DOCOMOMO184 選に選ばれたモダニズム建築の代表的建造物である伊賀市庁舎を誇りに思えず、観光資源のひとつとして捕らえることも出来ずにいます。</p>		
<p>3 提案の内容 (何をどうするか。)</p>		
<p>なぜ価値を知らないのか、なぜ誇りに思えないのかを分析し、庁舎の価値の有効な伝え方やその価値を観光資源化する方法を検討・策定し実践する。</p>		
<p>4 実施することで期待される効果やメリット (結果的にどうなるか。)</p>		
<p>職員・市民のシビックプライドの醸成、新規観光資源の掘り起こし、職員・市民の FM 感覚の浸透</p>		
<p>5 実施にあって想定される問題点やリスク (実現するために必要なこと。)</p>		
<p>分析のためのサンプルをどれだけ収集できるか。</p>		
<p>審査結果</p>		
<p>判定区分 (審査委員会のコメント)</p>	<p>褒賞 (審査委員会のコメント)</p>	
<p>実施検討</p>	<p>佳作</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イコモス「日本の20世紀遺産20選」に選ばれた重みや、その価値を学んでいく必要がある。</li> <li>・ うまくやれば日本中の人々に認知していただけるチャンスである。</li> </ul>	<p>今取り組むべきタイムリーな提案である点が評価できる。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来てもらって知ってもらうための、観光コンテンツとして有効活用する具体策を検討すべきである。実施することによる効果は期待できる。</li> <li>・ ターゲット、他キャラクターとの住み分け、著作権など実施に向けては調査研究すべき課題がある。</li> </ul>	
<p>実施検討のポイント</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語り部の養成、冊子作成・情報発信など、具体的に何をすべきかについて検討すること。</li> <li>・ 建築士会など外部との連携も検討すること。</li> <li>・ 取り巻く社会情勢や市政の状況を考慮しながらスピード感をもって検討を行うこと。</li> </ul>	
<p>担当課における検討結果</p>	
<p><b>【管財課】</b></p> <p>庁舎管理を担当する課（12月末までは管財課）で、既に行っている業務の延長で「庁舎の価値を伝える」ことが可能と考えます。</p> <p>年々増加している庁舎見学希望者に対応するため庁舎見学マップを作成します。また、観光ボランティアガイド「かたりべ」さんとの連携による定期的な見学会を、職員には建物保全の研修も含めた見学会の実施が検討できます。</p> <p>今後、庁舎市民ギャラリーを利用したイコモス「日本の20世紀遺産20選」ノミネート記念写真展、他自治体の城下町とモダニズム建築の共存の実例紹介、モダニズム建築の庁舎保存例紹介を検討できると考えます。</p>	